



Resilience View

レジリエンス・ビュー 第30号 (新8)

新型コロナウイルスへの対応で世界中の個人および組織が危機に直面しているさなかではありますが、2019年度最後のレジリエンスビューを発行いたします。本号では、「レジリエンス」をテーマに活動してきた当協会員の論文およびレジリエントな都市研究会の海外文献翻訳の取り組みの成果をご紹介します。

今後も、会員および研究会による国内外のレジリエンス関係の実地調査、文献調査、各種レジリエンスの実践の報告を広く公開していく予定です。

目次

1. 研究会紹介

2. 当協会員の論文紹介

新しい視点による中小企業のBCPに関する考察 ～災害リスクと経営リスクから捉えるBCPの考え方～

石井 洋之

3. 海外文献翻訳の取り組み成果

レジリエントな都市研究会

(1) City Resilience Index—Understanding and Measuring City Resilience

都市レジリエンスインデックス-都市レジリエンスの理解と測定

(2) The city politics of an urban age: urban resilience conceptualisations and policies

都市時代の都市政策：都市レジリエンスの概念と政策

4. 会員募集のお知らせ

【1. 研究会紹介】

当協会では、以下の6つの研究会を設置し、多様な側面から「レジリエンス」を研究しています。ご興味のある方は、お気軽にお問い合わせください。

◎当協会では活動中の研究会

1	ヒューマンレジリエンス研究会	「心のレジリエンス」に関する研究を実施しています。
2	演習研究会	BCP訓練や演習に関する研究を行っています。
3	しなやかな社会研究会	災害や危機に強いしなやかな社会の実現を目指し、危機対応力を向上するために活用できる国際規格等の普及啓発に取り組んでいます。
4	組織レジリエンス研究会	災害や事故などの被害から立ち直るために、企業を中心とした組織が備えるべきレジリエンスを研究しています。
5	レジリエントな都市研究会	レジリエントな都市における防災・減災機能の強化、迅速な復旧に必要な情報共有及び利活用のあり方を議論しています。
6	リーガルリスク研究会	企業・組織がどのように対応すればよいか、弁護士の支援を得ながら、具体策を検討し、企業・組織が取り込める提案を目指しています。

【2. 協会員の論文紹介】

新しい視点による中小企業のBCPに関する考察

～災害リスクと経営リスクから捉えるBCPの考え方～

当協会幹事 石井 洋之

【紹介】

企業の事業継続を考えるにあたり自然災害だけでなく幅広い経営リスクを想定することの重要性を踏まえたBCP策定のポイントを考察。政府による中小企業BCP策定支援事業をはじめ、主に中小企業が利用可能な支援リソースも含めて論じています。

なお、本文書は、2018年10月に執筆されたものであり、記載されている内容、固有名詞、法制度等はすべて執筆当時のまま掲載しております。ご了承ください。

以下のURLまたは右QRコードからダウンロードできます。

http://resilience-japan.org/wp/wp-content/uploads/2020/03/ishii_20181030_Discussion_of_smaller-businesses-BCP.pdf



【3. 海外文献翻訳の取り組み成果】

レジリエントな都市研究会による、「都市レジリエンス」に関する海外文献翻訳の取り組みを紹介します。

(1) City Resilience Index—Understanding and Measuring City Resilience 都市レジリエンスインデックス—都市レジリエンスの理解と測定

【紹介】

ロックフェラー財団の主催する『100都市レジリエンスのための100周年チャレンジ』に伴う事業の一環として、ロックフェラー財団およびArupが取りまとめた「レジリエントな都市」の評価指標や測定方法を紹介する文献の英和対訳です。

以下のURLまたは右QRコードからダウンロードできます。

http://resilience-japan.org/wp/wp-content/uploads/2020/03/translated_document_CityResilienceIndex.pdf



(2) The city politics of an urban age: urban resilience conceptualisations and policies 都市時代の都市政策：都市レジリエンスの概念と政策

【紹介】

「都市レジリエンス」の概念の多様な解釈が、諸組織間の団結を必要とする都市政策を阻害する可能性への危惧を背景に、「都市レジリエンス」の概念論と政策論のギャップを論じ、そのギャップを克服するための鍵を検討する論文の日本語訳です。

以下のURLまたは右QRコードからダウンロードできます。

http://resilience-japan.org/wp/wp-content/uploads/2020/03/translated_document_The_City_Politics_of_the_Urban_Age.pdf



※上記はいずれも、2018年12月までに翻訳されたものであり、翻訳者の所属は、原則として翻訳当時のまま掲載しております。ご了承ください。

【4. 会員募集のお知らせ】

◎当協会では会員を募集しております。当協会はレジリエンスに関する情報収集、意見交換の場として各業種、団体等の方々にお気軽に参加いただいている会です。レジリエンスにご興味をお持ちの方はぜひ一度定例会に参加いただき、会の活動状況等を実際にご確認いただければと思っています。

(参考) 個人会員の年会費は10,000円です。年6回程度開催予定の定例会・訓練会等の参加費(1回3,000円×6回程度)が無料となる他、各研究会(チーム)にも自由に参加することができます。

法人会員(100,000円/年)もあります。

入会申し込み方法につきましては下記リンク先のページをご参照ください。

<https://resiliencej.wordpress.com/aboutus/application/>

レジリエンス協会会報 Resilience View 第30号(新8)

発行：一般社団法人レジリエンス協会

「Resilience View」編集：広報委員 深谷純子 菊池謙三 新藤淳 宮田桜子

お問い合わせ先: info@resilience-japan.org

レジリエンス協会ホームページ <http://www.resilience-japan.org/>

本 Resilience View に掲載される記事の著作権は、原則として発行元に帰属します。

本レポートの無断転載は禁止です。転載・引用、雑誌掲載等本誌のコンテンツを利用される場合は、「出典：レジリエンス協会会報 Resilience View 第〇号」と明記して下さい。

=====

※レジリエンス協会の各種案内は次の方々にお送りしています。

- ①当協会の会員および会員から紹介のあった方。
- ②当協会開催のイベントに、申込み・参加された方でメールアドレスをお知らせ頂いた方。
- ③当協会の関係者と名刺交換された方で、レジリエンスにご関心があると思われる方。

※当協会からの案内にお心当たりがない場合は、以下までメールにてお知らせください。

登録を解除いたします。

「info@resilience-japan.org」

=====